



プレゼンターはラミレス美保さん

あんふあん×ぎゅって「おもちゃグランプリ 2024」 初の授賞式・タッチ&トライイベントを開催

幼稚園・保育園児とママ・パパ向け情報誌「あんふあん」「ぎゅって」（発行＝株式会社こどもりびんぐ／本社所在地：東京都千代田区、代表取締役：藤田基予）では、0～6歳の子を持つママ・パパがクリスマスに子どもに贈りたいというおもちゃを選ぶアワード、あんふあん×ぎゅって「おもちゃグランプリ」を毎年実施。12年目となる「おもちゃグランプリ 2024」では、銀座に店舗を構える老舗玩具店「博品館TOY PARK」が協賛。投票者全員に同店で使える割引チケットのプレゼントを実施したほか、11月15日には同店で授賞式・タッチ&トライイベントが開催されました。

「博品館TOY PARK銀座本店」にて授賞式を実施



（上段左から）株式会社カワダの長内さん、株式会社セガ フェイブの田矢さん・伊藤さん、アイデス株式会社の細沼さん、株式会社バンダイの小田さん、ラミレス美保さん
（下段左から）インフルエンサーのはわいこさん・南里真以さん・saorinさん・サンちゃんさん

©Fujiko-Pro, Shogakukan, TV-Asahi, Shin-ei, and ADK
© 2024 ides Co.,Ltd.
©やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV
© 谷口あさみ／こどもりびんぐ・小学館

授賞式のプレゼンターはラミレス美保さん

「おもちゃグランプリ 2024」の二次進審査会でゲスト審査員として参加いただいた、4人の子どものママであり、元プロ野球選手ラミレスさんの妻、ラミレス美保さんにプレゼンターを務めていただきました。



ラミレス美保さん／ほんの少しの手助けが必要な人々を応援する「VAMOS TOGETHER」を運営、フィットネスジム「CrossFit Motomachi Bay」を経営。

ラミス美保さんからのコメント

「4人の子どもがおり、一番上が小学3年生、一番下が2歳の男の子3人女の子1人なのですが、性格もみな違い、好きなものも違い、もちろん好きなおもちゃもそれぞれ違ってきます。子育てをしていると、「おもちゃ＝私が片付けられないといけない」というイメージがあったのですが、今回おもちゃグランプリの審査会に参加させていただいて、たくさんのおもちゃの進化と工夫を身をもって感じる良い経験ができました。家に帰ってからおもちゃが増え、主人とともに、おもちゃのすばらしさを改めて実感させていただく良いきっかけになりました。これから、私自身もおもちゃの良さを発信していきたいと思っておりますので、ぜひこれからもたくさんの工夫のある、ママ・パパにやさしい、子どもにやさしい、そんなおもちゃを期待しております。」

金賞を受賞した5部門のおもちゃの担当者5名が登壇

AIやキャッシュレス決済など「今とき感」のある商品や「ナチュラルさ」のある大型玩具が人気の結果に。

●制作・プログラミング部門 金賞 「ドラえもんAIパソコン（バンダイ）」



株式会社バンダイ
トイ事業部 企画2チーム チーフ
小田真由美さん（左）

©Fujiko-Pro, Shogakukan,
TV-Asahi, Shin-ei, and ADK

小田さん「こちらの商品はAI学習機能を搭載して、お子さまの学習に最適な問題を自動で出題できるようになっています。プログラミングやタイピングのほか、国語、算数、英語などの基礎学習を含む3000問以上がそろっていて、ドラえもんと一緒にお子さんの学習に寄り添ってくれるので、楽しく遊びながら勉強が続けられます」

●カラダをつかって遊ぼう部門 金賞 「ムゲループジム（アイデス）」



アイデス株式会社
トイ事業部 統括補佐
マーケティング部 課長
細沼加枝子さん（左）

© 2024 ides Co.,Ltd.

細沼さん「私たちの会社では、子どもたちの毎日の運動あそび、成長発達をサポートすることをミッションに掲げています。こちらの商品は、1歳から遊べる新感覚の次世代ジャングルジムで、レーンやボールを付けて、子どもの成長や体格に合わせて長く楽しめる設計にしました」

2024年11月
株式会社こどもりびんぐ

●愛情を育む部門 金賞 「動く絵本プロジェクター ドリームスイッチ アンパンマン（セガ フェイブ）」

株式会社セガ フェイブ
Toysカンパニー
企画マーケティング本部
企画マーケティング部 主任
伊藤さやかさん（左）



©やなせたかし／フレーベル館・
TMS・NTV

伊藤さん「動く絵本プロジェクターにはアンパンマンのおはなしがたくさん入っていて、夜なかなか眠れない、寝室に行きたがらない子でも読み聞かせて眠りへの誘導を促し、優しい気持ちを育みます。1日の終わりに親子で一緒に大切な時間を過ごせるような商品です」

●お金・ショッピング部門 金賞 「セルフレジでおかいもの！ おしゃべりいっぱい アンパンマンコンビニ（セガ フェイブ）」

株式会社セガ フェイブ
Toysカンパニー
企画マーケティング本部
企画マーケティング部 スペシャリスト
田矢沙織さん（左）



©やなせたかし／フレーベル館・
TMS・NTV

田矢さん「いまどきのセルフレジで商品をスキャンしたり、電子レンジでお弁当を温めたりして、コンビニの定員さんごっこが楽しめる商品です。遊びを通してお子さまの創造力や記憶力、相手を思いやる心を育むきっかけになってもらえると嬉しいです」

●食育部門 金賞 「Hape おままごとキッチン（カワダ）」

株式会社カワダ
オリジナル事業部 開発部
長内梨瑠さん（左）



長内さん「Hapeは1986年にドイツで設立され、世界70カ国以上で木のおもちゃを販売する人気メーカーです。つまみを回すと音が鳴ったり、蛇口をひねることができたり、想像力が膨らむ仕組みになっています。この商品は、おうちのインテリアを邪魔しないようなナチュラルであたたかみのある日本オリジナルデザインになっています」

こどもりびんぐ

授賞式後はタッチ&トライイベントを開催 マインフルエンサーと子どもたちがおもちゃを体験



当日参加した子どもたちも金賞受賞のおもちゃを楽しんでくれました

© 2024 ides Co.,Ltd. ©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

授賞式終了後には、タッチ&トライイベントを開催し、当社の公式インフルエンサーが自身の子どもとともに参加しました。インフルエンサーは企業の担当者とともに交流しながら、選ばれたポイントを実際に体感。また、子どもたちは金賞を受賞したおもちゃに直接触れ、それぞれのおもちゃの仕掛けを楽しんでいる様子でした。

特に未就学児の子どもたちにとって、おもちゃはその後の成長にもつながる大切なもの。これからのクリスマスのおもちゃ選びにも、ぜひ、受賞商品をチェックしてみてください。

【あんふあん×ぎゅって「おもちゃグランプリ2024」結果発表ページ】

<https://enfant.media/learn/27168/>

【博品館TOY PARK銀座本店ホームページ ※受賞商品の展示は11月22日（金）まで】

<https://www.hakuhinkan.co.jp/toypark>



■ 幼稚園児・ママ・パパの情報誌「あんふあん」媒体概要

発行エリア／全12版

(東京・神奈川・千葉・埼玉・北海道・東北・栃木・静岡・関西・東海・広島・九州)

※東北・栃木は年5回、広島・静岡は年4回発行)

発行部数／12エリア計約72万6400部

配布形態／幼稚園を介して先生から園児、ママへ手渡しされます



■ 親子の保育園生活を応援する情報誌「ぎゅって」媒体概要

発行エリア／全3版

(首都圏・関西・東海 ※東海は年2回発行)

発行部数／3エリア計 約36万200部

配布形態／保育園を介して先生からママへ手渡し、または連絡BOXやバッグに入れて手元に届きます

■ 本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社こどもりびんぐ 事業本部 コンテンツビジネス部 あんふあん・ぎゅって編集担当：相良・山口・白石
TEL：03-5244-5761 E-mail：contact@kodomoliving.co.jp